

特別講演会

絶滅しそうな昆虫をまもる

～昆虫館で、そしてフィールドで～



日本に生息する絶滅危惧種の昆虫はなんと350種以上。有名なゲンゴロウやタガメ、オオクワガタもその中に含まれます。これらの保全には、生息地の環境を改善することが重要ですが、人の手で増やして絶滅を回避する「生息域外保全」と呼ばれる方法もあります。

今回は伊丹市昆虫館の田中良尚さんをお招きし、国内の生息地が限られるカミキリムシやクワガタムシなどについて、昆虫館が行っている生息域外保全をお話いただきます。絶滅危惧種をまもること、復活させることの難しさ、飼育繁殖の具体的な方法を学んでみませんか？



フサヒゲルリカミキリ



ヨナグニマルバネクワガタ

【主な講演内容】

- ・昆虫館の仕事とは？
- ・絶滅寸前の大型種
フチトリゲンゴロウの飼育
- ・国内初の飼育繁殖成功
フサヒゲルリカミキリ
- ・原生林の固有種たち
マルバネクワガタの生態 ほか

日時

令和7年8月8日(金)
18:30～20:00

【講師：田中良尚（たなか よしなお）さん】

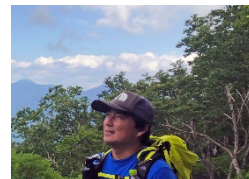
場 所 久万高原駅やまなみ2階ギャラリー

(愛媛県久万高原町久万202-3)

※既に配布済みの特別展案内チラシから場所が変更になりました。

参加費 100円 定員 60人

伊丹市昆虫館学芸員。南西諸島に生息するマルバネクワガタを調査・研究している。分担執筆に『クワガタムシの生物学』ほか。



参加には申し込みが必要です。

※お問い合わせ・お申込みは面河山岳博物館（電話：0892-58-2130 FAX：0892-58-2136）

※お車の駐車は久万高原町役場、産業文化会館の駐車場をご利用ください。

フォームから申込可↓



参加申込票

以下に必要事項をご記入の上、博物館までFAXください。いただいた個人情報は適正に管理し、延期・中止など本事業に関するご連絡にのみ使用させていただきます。また、第三者に開示・提供することはありません。

参加者氏名	
住所	
電話番号	